



たかまつ

<http://www.takamatsu-e.nerima-ky.ed.jp/>

●自ら学ぶ子

学校の教育目標
●思いやりのある子

●たくましい子

学校の仕事、保護者の仕事

副校長

担任をしていた時、保護者の方から次のようなお願いをされたことがあります。

- 1 ゲームを遅くまでやって困っています。先生から指導してもらえませんか。
- 2 カード交換でトラブルになっています。相手の家にお話してください。
- 3 日曜のサッカーで足を痛めたみたいです。湿布をお願いします。
- 4 「学校に行きたくない」と言って起きてきません。何とかならないでしょうか。

これらの中で私が「学校の仕事ではない。保護者の仕事だ」と感じたものはどれでしょうか。皆さん、少し考えてみてください。

ゲームをやらせるか、やらせないか。やるならどれくらいか。ルールを守らなかつたらどうするのか。これらのルールは家庭内で決めることです。ルールを決めたらそれを守らせるのは、保護者の仕事です。最近ではオンラインゲーム上のトラブル解決を学校に持ち込まれることもあります。これも、それぞれの保護者同士で解決する事柄です。トラブルが嫌ならば、やらせなければ良いだけの話です。

カード交換やおもちゃ・お金の貸し借りは放課後のことでしょうか。学校の出る幕ではありません。相手の子に、あるいは保護者に直接お伝えください。学校でいじめがあり「お前、アレ持って来いよな」等と言われたことがきっかけでしたら、もちろんそこは学校の出番です。ご遠慮なく担任や管理職にご連絡ください。

保健室は「登下校を含む学校で起きたけが(学校管理下のけが)の一時的な手当ををするところ」です。それ以外は家庭で手当ををしたり、受診をしたりしてください。また、発熱して早退の連絡をすると「やっぱりそうでしたか。朝からちょっと具合が悪かったんです」と言われることもあります。仕事があり家にいられない。だから申し訳ない気持ちもありつつ学校に向かわせる。その気持ちは重々分かります。ですが、新型コロナウイルス感染症が蔓延している現在、これもご勘弁いただきたいところです。

子供が成人し就職して「仕事が嫌だ」と言ったら、上司に就社を促すよう頼みますか。そんなことはしないはず。「何となく気が向かないな」という日は、子供だけではなく私たち大人にもありますよね。そんな日でもペースを乱さずに続けることが大切だと思うのですが、いかがでしょうか。子供にそのペースを身に付けさせるのも保護者の大事な仕事です。もちろん、行きたくない理由が学校にある場合はご相談ください。真摯に対処いたします。

判断の基準は「学校で起きたことか/そうではないか」です。この基準に照らし合わせると、1～4のすべて、保護者の仕事になります。

報道等でご存じの通り、教員の仕事は多岐にわたります。日々の授業準備、校内での生活指導、行事の計画と運営、書類作成等、限りがありません。寸暇を惜しんで仕事をしている中に校外のことまで持ち込まれると、本来の仕事のための時間も気力もなくなってしまいます。

本校の教員は、それぞれの仕事に全力で当たっています。保護者が行うべき仕事は、ぜひ保護者ご自身で行っていただくようお願いいたします。

月	火	水	木	金	土	日
凡例 ①：1校時 (5・6)：5、6年	1 開校記念日 校庭 -	2 校庭 -	3 腎臓病検査(二次) 校庭 -	4 何でも相談(終) 読書月間(1学期)終 校庭 -	5 校庭 -	6 校庭 -
7 全校朝会 校庭 -	8 生活科探検(2) 校庭 -	9 安全指導 校庭 -	10 校庭 -	11 水道キャラバン(4) 校庭 -	12 土曜授業 定期健康診断終 校庭 -	13 校庭 -
14 全校朝会 校庭 -	15 校庭 -	16 校庭 -	17 児童集会 4時間授業(全) 校庭 -	18 校庭 -	19 校庭 -	20 校庭 -
21 全校朝会 校庭 15:30	22 新体力テスト 校庭 15:30	23 午後金曜と入替 (2~4) 5時間 (5・6) 6時間 校庭 15:00	24 新体力テスト(予備日) 校庭 15:30	25 4時間授業(除4の2) 校庭 15:00	26 卒業アルバム渡し(中1) 校庭 -	27 校庭 -
28 全校朝会 水泳指導始 校庭 15:30	29 個人面談(5・6) 生活科探検(2) 下水道出前授業(4) 校庭 15:30	30 委員会活動(5校時) 校庭 15:00	※緊急事態宣言の延長などにより、変更になる場合があります。 その際には学校メールでお知らせします。			

2%を8分間確保する

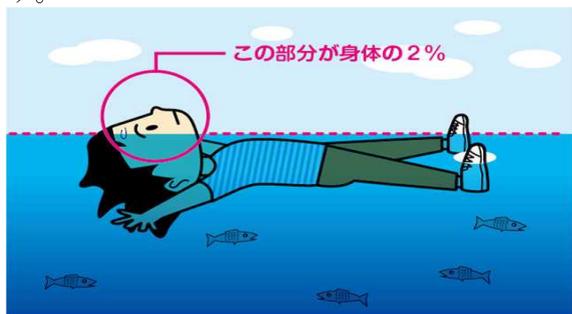
体育主任

「2%」-----この数字は、人が浮いたときに水面から出る体の割合です。なんと、たったの2%なのです。そして「8分間」は、通報を受けてから、救助隊が現場へ到着するおおよその時間です。

近年、川遊びや海での事故が多発しています。足を滑らせ、もし水の中へ落ちてしまったとき、この「2%」を、8分間以上立ち着いて確保できるかどうか、生死の分かれ道となります。（もがく中で、手を水面より上へ挙げてしまったら、その分、口や鼻が沈んでしまうこととなります。）大切なのは、「浮いて待て」です。

また、現場に居合わせた人が救助のために入水することも危険とされています。浮力のある物やロープなどを投げ入れたり、大きな声で浮いて待つよう指示をしたりするのが鉄則です。

学習指導要領の改訂に伴い、5、6年生では、水泳指導の中に「安全確保につながる運動」を指導するよう明記されました。泳法もさることながら、命を守る術も学んでほしいと思います。



(イラスト：日経 WOMAN より)

【重要】今年度の水泳指導は、緊急事態宣言が発出されている間には行いません。解除後については、追って別紙にてご連絡いたします。

低学年の窓（2年）

5月7日、消防写生会で、1・2年生の子供たちは校庭で消防車を見て絵を描きました。

◆消防写生会で、消防車を近くで見ることができてよかったです。はしごをよく見てうまく絵がかけました。友達と一緒に描くと楽しかったです。

◆写生会でポンプ車の絵を描きました。うまく描けてしっかり色を塗りました。タイヤが難しかったけど、色を塗ったらすてきになりました。

◆はしご車は、はしごが10階ぐらいの高さまで伸びると聞いて、ぼくはすごいなと思いました。初めて近くで見られて嬉しかったです。すごく迫力がありました。また見たいです。

◆消防車を目の前で見ることが初めてで嬉しかったです。絵を描くのが難しかったけど、上手に描けるようになりました。私も消防士さんみたいに人を助けたいです。

◆消防車が本当に出てきて、びっくりしました。そして、消防車を描いたら上手に消防車が描けました。

◆消防車の絵は難しかったけれど、消防車がかっこよかったです。消防士の人もかっこよかったです。みんなを守ってくれてありがとうございます。

◆はしごをかくのが難しかったです。大きくてびっくりしました。1年生の頃でできなかったのが、2年生でできて嬉しかったです。

◆最初はどきどきしていましたが、消防士さんや先生がアドバイスをくれて、うまくかけました。嬉しかったです。



6月の生活目標

みんなの物を大切にしよう

学校公開や行事の前に、学校中の落とし物を職員玄関前に並べています。そして、そのほとんどは、持ち主が分からぬまま処分されてしまいます。「名前があればな…」といつも悔やまれます。みんなの物を大切にするためにも、まずは自分のものをしっかりと大切にしたいです。自分の持ち物に名前がしっかりと書いてあるか、もう一度確認をお願いします。

みんなの物とは、学校の中にあるすべてのものです。学校の物や人の物を扱うとき、自分の物を扱うのと同じように使うことや、次に使う人のために整えたり片付けたりすることはとても大切なことです。ご家庭でも、みんなの物を丁寧に使うことの大切さについて、子供たちと話をしただけだったらと思います。（生活指導）

